

この「地域おたすけガイド」は、おもに地震発生時を想定し有馬町防災福祉コミュニティが作成した行動指針です。すぐに活用できるよう、目につく場所に保管してください。

■自らの安全を確保し ■周囲の状況をよく確認
その後、無理せず自分達のできる範囲での活動を行きましょう。

地震発生後の個人の行動 (チェックリストにしてください。)

- 揺れを感じたら、まず丈夫なテーブルの下に隠れるなど身の安全を確保する。
- 火を使用している場合は、揺れが収まり次第、火を消しガスの元栓を締める。
- 家族の安全を確認する。負傷者がいれば119番への連絡と応急手当ををする。
(但し大規模災害の場合、消防等救助機関がすぐに現場に駆けつけるとは限りません。
その場合は近所の方や小区自治会長などに救助を要請する。)
- テレビ・ラジオなどで情報の確認をする。
- 火災が発生すれば消火器などで初期消火を行う。
- 割れたガラス類でケガしないよう底の厚い履物を履いて行動する。
- 家から出る時はブレーカーを落とす。
- 近所の方(特にひとり暮らしの方)の安否を確認。負傷者がいれば119番への連絡と
応急手当ををする。
- 浴槽や容器に水を貯める。
- 家屋の損傷を確認する。
- 防災袋(携帯ラジオ、電池、充電器なども入れる。)や、携帯電話を携帯する。
お金・免許証・保険証などの貴重品を携帯する。
- 一時避難場所や避難所に移動する。

〈平常時に何度でもチェックしておく、いざという時役立ちます〉

有馬地区避難所 有馬小学校：904-0170 (食料、水、生活必需品配備)

緊急連絡先 火災・救急 TEL：119 警察 TEL：110 (携帯電話、スマホも同じ)

北区有馬連絡所 904-0081

公衆電話設置場所

◇屋外(終日可)：有馬連絡所前、善福寺下、ロープウェイ有馬温泉駅下、桃源洞町NTT前

◇宿泊施設除く屋内(終日不可)：地域福祉センター、神鉄有馬温泉駅、阪急バス駅

★ 各小区の会長連絡先・一時避難所・最寄りAED設置場所等の一覧表は裏面にあります ★

小区ごとの会長連絡先・一時避難場所・最寄りAED設置場所等の一覧表(2019)

小区名	小区会長名	固定電話 (携帯電話)	一時避難場所	最寄りのAED設置場所
瑞宝寺町			瑞宝園 有馬温泉病院	瑞宝園 ダイヤモンドソサエティ 有馬温泉病院 土木健保
東之町			東之町集会所	メイプル有馬
射場町			竹取亭円山 プリンセス有馬	プリンセス有馬 ブランゾート有馬
寺田町			有馬の工房	かんぼの宿有馬 住友ゴム楓荘 銀の湯 東急有馬六彩
上之町			林溪寺・有馬保育 園 御幸荘花結び	有馬保育園 御幸荘花結び
中之町			天理教 有馬町 分教会(藤木)	上大坊 高山荘華野
北之町			瑞苑駐車場	観光案内所 有馬御苑 瑞苑 陵楓閣 兵衛向陽閣 古泉閣 (各フロントデスク)
潮原町			金の湯 有馬の工房	金の湯 有馬玩具博物館 ホテル花小宿
伊奈野町			有馬の工房	有馬ロイヤルホテル 角の坊
滝本町			有馬里駐車場	御所別荘 月光園
瓢箪町			金の湯	金の湯
栄町			有馬小学校	神戸電鉄有馬温泉駅 北消防署有馬出張所 地域福祉センター 観光案内所各宿泊施設
桃源洞町			銀水荘兆楽	銀水荘兆楽 スパテラス紫翠 銀水荘兆楽 宿ごもり紫貴 (各フロント)

救急車 119 を呼ぶときはー (確認して伝えること)

- ①症状はいつから
- ②どのように始まり、どのように続いているか
- ③今はどのような状態か 《顔色・呼吸・意識の有無など》
- ④救急車が来るまで 何をしていたらいいか

地震発生時の防災福祉コミュニティの活動

防コミ本部設置

- 震度5弱以上の地震が発生した時、有馬連絡所（連絡所が不可能な場合は地域福祉センター）に設置する。各小区自治会長は状況に応じ、可能な限り副会長を小区リーダーに指名した上で本部に集合する。不可能な場合は小区リーダーとして小区活動班の指揮をとる。
- 本部に駆けつけた小区自治会長の中から**統括防災リーダー**を決定する。
（自治会長不在の場合は防災リーダー、防災リーダーも不在の場合は副会長の順で決定する。）
- 統括防災リーダーは集まってきたメンバーで、情報作戦班、資機材管理班等の編成を行う。
- 小学校、区役所職員と協力し避難所を開設する。

情報作戦班

○準備

本部に、状況が把握しやすいように地域の地図、防災マップ、民生委員に依頼し要援護者の災害時要援護者名簿、メンバー間で情報共有するためホワイトボードや模造紙などを普段からあらかじめ所定の場所に準備しておく。

○情報等の収集

手段：ラジオ・テレビ、防災行政無線等

内容：医療機関・各交通機関・生活インフラ（水・電気・ガス等のライフライン）の状況

○各小区の被害状報の収集（小区リーダーが報告）

被害状況に応じ、各小区活動班および資機材管理班に対して活動内容の具体的指示（安否確認、被災者の救護・救出、必要に応じた資機材の搬送等）を出す。

○消防団とも情報を共有

必要に応じ消防団にも消火や救助活動を依頼する。

○避難所と防コミ本部間の伝達係員を指名

必要な情報等を伝達し、避難所運営に協力する。

（女性、幼児、高齢者等災害時要支援者に特に配慮する。備蓄品の円滑かつ平等な配布を行う等。）

○要援護者の安否確認

災害時要援護者名簿にもとづき小区活動班に指示する。

○可能な場合、湯山会・婦人会等とも連携

それぞれの組織を通じた情報収集も行い、安否を確認する。

○被害状況を消防署および警察署に連絡

どこの家に生き埋めの人がいる。どこの家の住民が避難済みか等の具体的な情報

○被害状況、活動状況や避難所運営上必要な物資を区役所に連絡

○状況に応じ救援が必要な小区活動班に加わる。

災害緊急時の連絡報告先

北建設事務所：981-5191(道路陥没や倒木等の連絡) 北神区役所：981-5377 北区役所総務課：593-1111

小区活動班

(震度5弱以上の地震が発生した時、リーダーはトランシーバーの電源を常に入れ携帯し、情報作戦班との連絡を取るようにする。)

○避難誘導

「〇〇に避難して下さい。」と呼びかけて回る。自宅の損傷などにより避難所等に避難する必要のある災害時要援護者の避難支援を行う。活動が可能な市民に協力を依頼する。

○消火活動

出火を発見したら、まず消防署への通報を試みたうえで、チームを組み初期消火を行う。可能な小区は消火栓からの放水により消火を行う。(※但し地震時には消火栓が不通の場合もあります。)消防団との連携も取る。必要に応じ活動が可能な市民にも協力してもらう。

○救助活動

自分が怪我をしないよう二次災害に注意しながら防災資機材を使用し、負傷者を救出する。防災資機材はジャッキ、バール、のこぎりなどが有効。必要資機材であらかじめ携帯できないものについては情報作戦班に要請する。

○応急処置

負傷者への心肺蘇生法、ラップ等を使った止血等の応急手当を実施し医療機関に搬送する。活動が可能な市民にも協力してもらう。

○状況調査

情報作戦班の指示を受け、**被害状況報告書**にて被害状況を、**安否報告書**にて住民の安否等の状況を調査し報告する。

○小区活動班の人員が不足している場合は、本部情報作戦班に要請する。また活動が可能な市民にも依頼する。

資機材管理班

○資機材配達

小区活動班から要請を受けた情報作戦班からの指示で、消火活動や救護活動に必要な資機材を速やかに小区活動班に届ける。

○小区活動班応援

状況に応じ救援が必要な小区活動班に加わる。

○資機材回収

事態収拾後、必要が無くなった段階で回収する。

防災用資機材倉庫 (北区有馬連絡所2F)

倉庫カギ保有者

資 器 材 一 覧 表

(保管場所:有馬連絡所2階)

No.	品 名	総数量	分散配備数			
			有馬連絡所	瑞宝寺町・東之町 上之町・射場町	桃源洞町	全町
1	ヘルメット	43 個	26	12	5	
2	訓練用消火器	10 本	6	2	2	
3	布バケツ	55 個	35	10	10	
4	自立式簡易水槽	1 個	1	0	0	
5	スコップ	27 本	17	5	5	
6	ツルハン	10 本	6	2	2	
7	折りたたみ鋸	35 本	25	5	5	
8	鋸	30 本	20	5	5	
9	オノ	10 本	6	2	2	
10	ハンマー	6 本	4	1	1	
11	バール	30 本	20	5	5	
12	ボルトクリッパー	2 本	1	1	0	
13	サルベージシート	13 枚	9	4	2	
14	簡易ジャッキ	10 本	6	2	1	
15	折りたたみ担架	5 台	3	1	1	
16	一輪荷車	4 台	2	1	3	
17	懐中電灯	22 機	16	3	1	
18	トランジスタメガホン	12 機	9	2	0	
19	広報・訓練用拡声器	1 機	1	0	0	
20	携帯用発電機	2 台	2	0	0	
21	ライト投光器	1 台	1	0	0	
22	チェンソー	1 台	1	0	0	
23	消防用ホース	2 本	2	0	0	
24	管鋸(背負い式)	1 個	1	0	0	
25	噴霧ノズル	1 個	1	0	0	
26	TOAハンド型メガホン拡声器	13 台				13
27	簡易テント	6 張	6			
合計 27種		353	227	63	50	13